

第6回

パッケージイノベーションセミナー

～生活者の心を動かすパッケージとは～商品の魅力を伝える様々なアプローチ～

開催日：平成28年2月5日（金）

会場：アイビーホール青学会館 サフランの間

主催：公益社団法人日本包装技術協会

■開催にあたって

当会では、新しい包装の価値を創出するような情報の紹介を中心として、デザイン、マーケティング、販売戦略、分析情報、環境対応事例、感性工学・認知工学、消費者へのPR等、様々な分野からのテーマで構成する「パッケージイノベーションセミナー」を開催しております。

今回のセミナーでは、“商品改善事例”“感性工学”“デザイン”“ブランディング”といった多方面の専門家の皆様からのご意見を伺い、生活者は商品やパッケージのどんなところに魅力を感じて購買にいたるのかを考えていきたいと思っております。

優れた包装技術・パッケージデザインを効果的に使い、商品価値を高めるにはどうしたら良いか考えるヒントとなれば幸いです。

どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

時間	講演テーマ	講師
10:00 ▼ 10:30	<p>「定番商品容器の更なる使いやすさ向上取り組み事例」</p> <p>①「新ラー油キャップ」の開発 餃子やラーメンにラー油をお使いでしょうか？50年に亘るロングセラー「S&B ラー油」は、たいていのスーパーマーケットで手ごろな価格で購入できる身近な液体香辛料のひとつです。高齢化や食場面・調理場面が多様化するなか、特に慣れ親しんでいた商品の改善には配慮と多様な視点からのアプローチが必要です。S&B では、課題解決の試みとしてお客様相談センターに集まる声に耳を傾け、サンプルを作成しモニターを活用し生活者の視点で確認を繰り返す手法に取り組んでいます。また、身近な食品としての香辛料容器の機能性とは何か？を意識しながら「S&B ラー油」の「キャップ」に取り組みました。15年ぶりの変更に至ったその経緯をお話いたします。</p>	<p>エスビー食品株式会社 執行役員 開發生産グループ 中央研究所長 大矢 肇 氏</p>
10:40 ▼ 11:10	<p>②明治「しまるボトル」シリーズ 株式会社明治では、消費者調査および表面筋電位計測等の生理評価を行いながら、お客様の使いやすさや快適性に配慮した容器開発を目指しています。また、ロングセラー商品であっても、お客様の声や市場環境の変化に鑑み、更にお客様にご満足いただける商品に改善することを心がけております。</p> <p>今回は、ヨーグルト市場のトップブランドとして様々な商品展開をしております「明治ブルガリアヨーグルト」シリーズの中で、ゲーブルトップ容器を使用したドリンクヨーグルトについて、お客様が使いやすい容器とは何かを検討した結果、キャップ付容器に変更し、その後「しまるボトル」シリーズとして乳飲料にも展開した事例について紹介いたします。</p>	<p>株式会社明治 研究本部 技術開発研究所 パッケージング ソリューションセンター 大平 祐歌 氏</p>
11:20 ▼ 12:30	<p>「エモーショナルデザインとパッケージデザイン」</p> <p>パッケージは、製品を搬送、保護するといった物理的に作用する機能と共に、買う人や受け取る人への気持ちに働きかけるといふ、精神的に作用する機能があります。そういった意味で、より魅力的なパッケージ作りには、エモーショナルデザインの知識を知ることが、第一歩になると考えます。講義では、エモーショナルデザインを人の情動に訴えかけるデザインとし、そのための視覚や触覚、聴覚などの要素を幅広く解説します。また、研究事例として、ユーザーの調査から嗜好性のグループを抽出し、それらの層に訴えかけるパッケージの特徴を導き出した事例を紹介いたします。</p>	<p>芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科 プロダクトデザイン領域 教授 橋田 規子 氏</p>
13:30 ▼ 14:50	<p>「地域産品におけるパッケージデザインの勘どころと包装設計」</p> <p>地域において真っ当な商いをしている人達は、ランチェスターの法則を知らずとも自らの強みを意識し、大手と戦わずしてコアなファンを獲得している事実。反面、イモノを作っているのに報われない人々も多く見えてきました。不振の原因は何でしょうか？高いから売れない、のではありません。価値を感じないから買わないのです。もっと言えば、生産者が持てる価値ある情報が正しく届いていない(届ける努力をしていない)からなのです。</p> <p>その情報発信を担うアイテムとしてパッケージデザインがあるのですが、地方のババマカンパニーの製品は小ロット多品種。しかも経営的に資金難であるところが大多数を占めます。そこで大手メーカー品のそれと大きく異なった包装資材設計が必要になのですが、その勘どころとは…</p>	<p>株式会社 御来屋デザイン事務所 代表取締役 本多 英二 氏</p>
15:00 ▼ 16:20	<p>「イノベーションを起こす、ブランドストーリーの創り方」</p> <p>市場環境は大きく変化し、大量消費を前提としたマスマーケティングの限界が見えてきています。だからこそお客様 1 人ひとりとの絆を深くする、奥深いブランドストーリーが必要になってきています。更に EC や SNS でのコミュニケーションなど多チャネル化し続ける中で、パッケージや店頭は、ブランドストーリーを感じるための最重要チャネルへとなることでしょう。特に日本人には、デザインを通して文脈や行間を読み解くチカラがあり、見えているモノ以上にストーリーを感じることができます。このセミナーでは、「日経デザイン」で取材連載させて頂いた事例を中心に、ブランドストーリーの創り方についてお話します。</p>	<p>バニスター株式会社 代表取締役 細谷 正人 氏</p>

講演者ご紹介

●大矢 肇 氏

エスピー食品株式会社 執行役員 開発生産グループ 中央研究所長
 1983年 エスピー食品株式会社入社 工場の品質管理を経て、開発部開発課に配属、
 香辛料の商品開発を初めとし、家庭用・業務用の商品開発及び容器包装
 の開発に広く携わる。
 2013年 執行役員就任
 2015年より現職

●橋田 規子 氏

芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科 プロダクトデザイン領域 教授
 東京芸術大学美術学部デザイン科インダストリアルデザイン専攻卒業
 TOTO株式会社入社
 2008年 NORIKO HASHIDA DESIGN 設立
 2009年 芝浦工業大学デザイン工学部教授就任
 2009年～グッドデザイン賞審査員
 2014年～キッズデザイン賞審査員
 日本デザイン学会理事 日本感性工学学会、日本インテリア学会会員
 *有資格・著書・作品
 1993年タンクレス便器ネオレストから累計グッドデザイン賞受賞 20 製品以上

●大平 祐歌 氏

株式会社明治 研究本部 技術開発研究所
 パッケージングソリューションセンター
 東京薬科大学卒業。明治乳業株式会社(現 株式会社明治)入社以来、流動食、経口造
 影剤、ペビー関連商品等の商品開発並びに品質評価業務に携わる。
 2012年より現部署にて容器開発および使用性評価を担当している。

●本多 英二 氏

株式会社御来屋デザイン事務所 代表取締役
 1958年 7月 4日 生まれ
 1983年 岡山大学教育学部特設美術教員養成過程 卒
 1997年 株式会社御来屋デザイン事務所 設立
 2006年 東京事務所(港区六本木 6-12-4)開設
 (公社)日本パッケージデザイン協会 会員
 農水省認定 6次産業化プランナー

●細谷 正人 氏

パニスター株式会社 代表取締役

法政大学工学部建築学科卒業後、1999年 NTTに入社。NTT 宣伝広告部門を経て、米国系ブランドコンサルティング会社入社。食品、日用品、アミューズメントパーク、航空、自動
 車、化粧品等のブランド戦略に携わる。2008年パニスター株式会社を設立。翌年 2009年同社シンガポール支社を設立。
 ブランドストーリーを軸に、消費行動志向性分析、パッケージデザイン、売場デザイン、ネーミング、TVCM などの包括的なデザイン戦略立案を行う。
 主な実績に、オロナイン H 軟膏、アリエール、オムロン、H&S、リカルデント、サンキスト、味の素、KRAFT、森永乳業、エビアン、オリエンタルランド、星野リゾート、辻利等。
 主な著書に「Brand STORY Design ブランドストーリーの創り方」(日経 BP 社)がある。

開催要領

日 時：平成28年2月5日(金) 10:00～16:20
 会 場：アイビーホール青学会館 B2F サフランの間
 東京都渋谷区渋谷4-4-25
 定 員：80名
 参加費：会員 18,360円(消費税8%、テキスト代含む)
 *同時に3名以上でお申し込みの場合には割引価格として
 1名 15,120円
 一般 27,000円(消費税8%、テキスト代含む)

申し込み方法

- 下記申込書に必要事項を全て記入の上、FAXにてお申し込みください
 協会 HP からの申し込みも出来ます。協会 HP : <http://www.jpji.or.jp>
- 申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします
- 開催 1 週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方
 がご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。
 (当日、名刺をご提出いただけます)

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第6回パッケージイノベーションセミナー」の事業実施に
 関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサ
 ービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。な
 お、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合な
 どを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

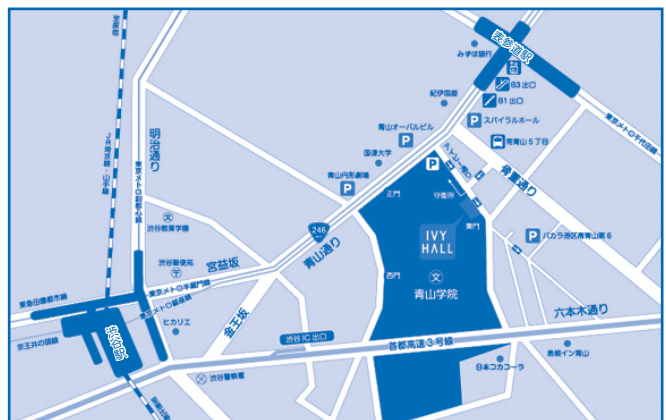
お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会
 パッケージイノベーションセミナー係 担当：竹内
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL. 03(3543)1189/FAX. 03(3543)8970 / e-mail:takeuchi@jpji.or.jp

【会場案内図】

アイビーホール青学会館 B2F サフランの間
 東京都渋谷区渋谷4-4-25

■交通手段：地下鉄 銀座線・半蔵門線・千代田線
 表参道駅下車(B3 出口より徒歩 5 分)



第6回パッケージイノベーションセミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内行

FAX.03-3543-8970 No.

会社名	JPI 会員・一般 (どちらかに○をつけて下さい)				
所在地	(〒)				
電話		FAX			
受講者	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	